

<p>C 効果的に伝える</p> <p>【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>・指導事項 相手や目的に応じ、他者に伝わるような言葉遣いや表現の仕方</p> <p>・教材 「話し方の基礎レッスン」「相手に伝わる案内をする」「心を動かすプレゼンテーションを行う」『羅生門』</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・視覚教材の利用</p>	○	<p>【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 相手・目的・場面を考慮し、表現や話し方を工夫して、積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。</p>	○	○	○	8
<p>D 情報を集める - 言語と文化</p> <p>【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>・指導事項 対比や具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して文章の論理構成を把握し、自身の文章に生かすこと</p> <p>・教材 「水の東西」「適切な情報を集める」「情報を正しく引用する」「ものことば」</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・視覚教材の利用</p> <p>・プレゼンテーション資料作成</p>	○	<p>【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉が認識や思考を支えることについて、進んで他のテキストと読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告しようとしている。</p>	○	○	○	8
定期考査				○	○		1

2 学 期	E 情報を活用する - 科学技術とメディア 【知識及び技能】 語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 対比や具体例から筆者の考えを捉え、自身も問題意識を持つこと ・教材 「人口知能に未来を託せますか」 「現代の『世論操作』」 ・一人1台端末の活用 ・視覚教材の利用	○	○	○	○	○	8
	F 根拠を示して主張する 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 論理の型としての「主張と根拠」 「主張と反論」 ・教材 「【主張と根拠】デザインの本意」 「【主張と反論】『動機』の語彙論」という視点 ・一人1台端末の活用 ・視覚教材の利用	○	○	○	○	○	6
	定期考査							1
	G 主張を把握する - 身体と時間 【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 比喩や言い換えを用いた論の展開の把握、理解した内容の説明の仕方 ・教材 「〈鏡〉という現象 - 装いと何か」 「不均等な時間」 ・一人1台端末の活用 ・視覚教材の利用	○	○	○	○	○	6
H 主張を吟味する - 経済社会と人間 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直ししたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉えること ・教材 「フェアな競争」 「社会に対する意見文を書く」	○	○	○	○	○	4	

2 学 期	<p>I 相手を説得する</p> <p>【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>・指導事項 表記・表現の基本ルール、必要な情報や資料を収集・整理し論理的で説得力のある文章を書く方法</p> <p>・教材 「書き方の基礎レッスン」「身近な製品の取扱説明書を作成する」「説得力のある紹介文を書く」「夢十夜」</p>	○	○	○	○	5
	定期考査						1
3 学 期	<p>J 主張を比較する - 環境と倫理</p> <p>【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>・指導事項 2つのものにおける筆者の主張の違いを整理し理解すること。</p> <p>・教材 「『文化』としての科学」「『環境』には『私』がない」</p> <p>・一人1台端末の活用 ・視覚教材の利用</p>	○	○	○	○	6
	<p>K 合意を形成する - 現代社会の課題</p> <p>【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、相手に応じた言葉遣いについて理解し、使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>・指導事項 合意形成について、現在の問題点を捉え、その意義と具体的な手法を理解すること。</p> <p>・教材 「リスクを考える - 『みんなで決める』はなぜ重要か」「意見をまとめて話し合いをする」</p> <p>・一人1台端末の活用 視覚教材の利用、構成メモの作成</p>	○	○	○	○	4
定期考査						1 合計 70	

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：(2,5,7組：鈴木 諒平) (3,4,6組：矢野 遼) (1組：天達 龍一)

使用教科書：(『高等学校 精選 言語文化』(第一学習社))

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
1 学 期 (中 間)	A 古文入門 【知識及び技能】 古文を読む際に必要な基礎知識を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 古文の基礎知識 歴史的仮名遣い、 古文の仮名、古語と現代語、 古語辞典の引き方、 品詞の種類、活用と活用形、 五十音図、動詞の活用 ・教材 「古文の学習」 「兎のそら寝」(宇治拾遺物語) 「古文を読むために1」 「絵仏師良秀」(宇治拾遺物語) 「古文を読むために2」			○	○	○	○	10
	B 漢文入門 【知識及び技能】 漢文を読む際に必要な基礎知識を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 返り点の種類と用法、 助字、置き字、 書き下し文の作り方、 再読文字の読み方 ・教材 「漢文の学習」 「訓読に親しむ」(一)(二)(三) 「漢文を読むために1～5」 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用			○	○	○	○	6
定期考査						○	○		1

1 学 期 (期 末)	C 歌物語 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 形容詞・形容動詞の活用、係り結びの法則、古文の内容、現代語訳 ・教材 『伊勢物語』『芥川』『伊勢物語』『筒井筒』 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用	○	○	○	○	○	13	
	E 故事成語 【知識及び技能】 漢文の基本的な句法(使役・反語など)について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 使役、反語の句法 漢文の内容、現代語訳 ・教材 『戦国策』『狐借虎威』 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用	○	○	○	○	○	○	5
	定期考査								1

<p>F 歌物語</p> <p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 和歌の修辞法、 助動詞の種類と用法、 物語の内容、現代語訳</p> <p>・教材 『枕草子』「はしたなきもの」</p> <p>・一人1台端末の活用 視覚教材の利用</p>		<p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	○ ○ ○	8
<p>G 随筆 (一)</p> <p>【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。自分のものの感じ方、考えが効果的に伝わるよう、表現の仕方を工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 助動詞、係助詞、接続助詞 随筆の内容、現代語訳</p> <p>・教材 『伊勢物語』「東下り」 『枕草子』「はしたなきもの」</p> <p>・一人1台端末の活用 視覚教材の利用</p>	○ ○	<p>【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、表現の仕方を工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、作者の視点を捉えたり、自分と関係づけて考えたりしようとしている。</p>	○ ○ ○	8
<p>H 故事成語</p> <p>【知識及び技能】 漢文の基本的な句法 (反語など) や再読文字の用法について理解し、書き下し文を正しく書き、全文を口語訳することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や展開を的確に捉え、故事成語の由来となった寓話に表れているものの見方や考え方を捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 反語の句法、再読文字 本文の内容、現代語訳</p> <p>・教材 『戦国策』「蛇足」</p> <p>・一人1台端末の活用 視覚教材の利用</p>	○	<p>【知識及び技能】 漢文の基本的な句法 (反語など) や再読文字の用法について理解し、書き下し文を正しく書き、全文を口語訳することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や展開を的確に捉え、故事成語の由来となった寓話に表れているものの見方や考え方を捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文を読み味わい、漢文に込められた作者の思いについて考えようとしている。</p>	○ ○ ○	5
<p>定期考査</p>				○ ○	1
<p>I 日記文学</p> <p>【知識及び技能】 日記文学に対する文化的背景について理解を深め、記録としての日記とは異なる表現方法の特徴について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章中の助動詞や古文単語を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 日記文学成立の背景、 助動詞、係助詞、接続助詞、 日記の内容、現代語訳</p> <p>・教材 『土佐日記』「門出」</p> <p>・一人1台端末の活用 視覚教材の利用</p>	○	<p>【知識及び技能】 日記文学に対する文化的背景について理解を深め、記録としての日記とは異なる表現方法の特徴について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章中の助動詞や古文単語を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の表現の特色を理解し、学習課題に沿って作品に込められた意図を考えようとしている。</p>	○ ○ ○	8

(2学期期末)	<p>J 和歌</p> <p>【知識及び技能】 和歌の修辭法や三大集の歌風の特徴などについて理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 和歌の表現に注意して、歌の内容を的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 和歌の修辭法、句切れ、リズム、三大集の歌風の特徴 和歌の内容、現代語訳</p> <p>・教材 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』</p> <p>・一人1台端末の活用 視覚教材の利用</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 和歌の修辭法や三大集の歌風の特徴などについて理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 和歌の表現の技法に注意して、歌の内容を的確に捉えることができている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌の内容を読み取ろうとしている。</p>	○	○	○	7	
	<p>K 史伝</p> <p>【知識及び技能】 史伝の舞台となる時代背景や国の状況を知るとともに、作中に描かれた人物像や考えを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて、句法に注意して的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 反語、受身、抑揚、仮定の句法 本文の内容、現代語訳</p> <p>・教材 『十八史略』 「先徙隗始」</p> <p>・一人1台端末の活用 視覚教材の利用</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 史伝の舞台となる時代背景や国の状況を知るとともに、作中に描かれた人物像や考えを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて、句法に注意して的確に捉えることができている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文を読み味わい、漢文に込められた作者の思いについて考えようとしている。</p>	○	○	○	6	
	定期考査					○	○			1
	<p>L 漢詩</p> <p>【知識及び技能】 漢詩の形式や、表現技法を理解することができる。作品の歴史的、文化的背景を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢詩における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、漢詩の内容を読み取ることができる。</p>	<p>・指導事項 絶句や律詩などの漢詩の形式、リズム、押韻、対句 詩の内容、現代語訳</p> <p>・教材 唐詩の世界 「春暁」「江雪」「静夜思」 「八月十五日夜禁中独直对月憶元九」「送元二使安西」「春望」</p> <p>・一人1台端末の活用 視覚教材の利用</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 漢詩の形式や、表現技法を理解することができる。作品の歴史的、文化的背景を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢詩における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、漢詩の内容を読み取ろうとしている。</p>	○	○	○	6	

3 学 期	<p>M 軍記物語</p> <p>【知識及び技能】 軍記物語特有の文体や表現の特色について理解することができる。 敬語表現について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開に注意して、登場人物の心情や人物像を的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 軍記物語の文体、表現の特色 助動詞、音便、 敬語の種類と用法、 物語の内容、現代語訳、 登場人物の心情、人物像</p> <p>・教材 『平家物語』『木曾の最期』</p> <p>・一人1台端末の活用 視覚教材の利用</p>	○	○	○	10
	<p>N 思想</p> <p>【知識及び技能】 漢文の句法(疑問・反語・感嘆など)について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 漢文の句法(疑問、反語、否定、感嘆、限定など) 本文の内容、現代語訳 『論語』の思想</p> <p>・教材 『論語』『学び』『仁』『政治』</p> <p>・一人1台端末の活用 視覚教材の利用</p>	○	○	○	5
	<p>O 随筆(二)</p> <p>【知識及び技能】 作品の歴史的、文化的背景と特徴を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 既習の古文の基本的事項をふまえて、内容や展開を的確に捉えることができる。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 助動詞、助詞 随筆の内容、現代語訳</p> <p>・教材 『徒然草』『丹波に出雲といふ所あり』</p> <p>・一人1台端末の活用 視覚教材の利用</p>	○	○	○	3
	定期考査			○	○	1
					合計	105

年間授業計画 様式例

雪谷 高等学校 令和8年度（2学年用）教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：（1組：森脇）（2組：荒井）（3組：荒井）（4組：荒井）（5組：森脇）（6組：森脇）（7組：森脇）

使用教科書：（第一学習社 精選 古典探究）

教科	国語	の目標：
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語についての特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古文：古文単語や古典文法を身につけ、文章を読んで内容を正しく理解できるようにする。漢文：訓点や基本的な句法を習得し、正しい書き下しができるようにする。	古文：書き手の主張や思想を正しく理解し、文法知識を活用し正確に現代語訳できるようにする。漢文：比喩や反語などの句法を駆使して内容を理解し、現代語訳できるようにする。	古典作品を通して日本語の美しく豊かな表現に触れ古典文学に対する興味関心を高めるとともに、生涯にわたって古典作品を読む意欲を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価標準	知	思	態	配当 時数
			語	書 読					
1 学 期	A 歌物語 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句を増やすことにより、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているもの見方・感じ方・考え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って説話を正確に読み取ろうとする。	・指導事項 動詞の活用、助動詞の用法、和歌の修辭法 ・教材 『小式部内侍が大江山の歌の事』 『古今著聞集』 教科書 ・一人1台端末の活用	○		【知技】 ・古文を読むために必要な文法事項や語彙、和歌の表現技法等について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文法事項を正しく踏まえて登場人物の心情を理解するとともに、和歌特有の表現に留意して内容を的確に捉えている。 【主】 ・古典特有の表現に注意して展開の面白みを十分に味わい、文学史における歌物語の意義を正しく読み取ろうとしている。	○	○	○	5
	B 歌物語 【知識及び技能】 ・歌物語の文章に表現されている語句や和歌の修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・和歌が詠まれたいきさつを読み、散文的文章の特徴を理解するとともに和歌が詠まれる背景への理解を深め、古典作品の多様性を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語の特徴や系譜について正確に理解し、学習課題に沿って作品に表れているもの見方や登場人物の心情への理解を深めて、物語の主題を読み取る。	・指導事項 助詞、助動詞の用法、和歌の修辭 ・教材 「初冠」『伊勢物語』 教科書 ・一人1台端末の活用	○		【知技】 ・歌物語の文章の特徴や古典特有の表現を通して構成や展開、内容を的確に理解している。 【思判表】 ・文章展開を的確に読み取り、登場人物の描写を通して書き手が伝えようとしていることを理解し、歌物語の効用を理解する。 【主】 ・歌物語を読み、作者の意図を踏まえて内容を理解するとともに、和歌の詠まれた事情と和歌の働きを的確に把握する。	○	○	○	6
	C 史話 【知識及び技能】 ・戦国時代を背景とした国の状況を理解し、人物の考え方や人物像を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・書き手の考えや目的を正確に読み取り、内容の解釈を的確に深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中国古典の価値観と比喩的な表現によって描かれる世界観を味わい、読書意欲を高める。	・指導事項 特殊な返り点や再読文字、比喩表現 ・教材 「鷓鴣狗盗」『十八史略』 教科書 ・一人1台端末の活用	○		【知技】 ・漢文を読むために必要な訓読の決まりや句法、語彙を身につけ、文章を正しく書き下すことができる。 【思判表】 ・訓読法に従って読み下し、比喩的な表現に注意して主張を理解しようとしている。 【主】 ・漢文特有の表現に注意して文章展開を把握し、故事成語の意味を理解しようとしている。	○	○	○	7
	一学期中間考査					○	○		1
	D 随筆 【知識及び技能】 ・古文に用いられている語句の意味や用法を理解し、随筆特有の文章の展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・語彙や文法的な知識を駆使して随筆特有の文章を理解し、類似的章段を通じて表現されている書き手のもの見方・感じ方・考え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・平安時代を代表する文章を通して古典的な世界観への理解を深め、古文を積極的に味わう意欲を身につける。	・指導事項 助動詞の用法、係り結びの用法、敬語の用法 ・教材 「すさまじきもの」「二月つごもりごろに」『枕草子』 教科書 ・一人1台端末の活用	○		【知技】 ・古典の作品や文章に表れている言葉の響きやリズム、係り結びなどの文法事項を理解し、随筆独特の文章を理解している。 ・随筆に表れている章段の特徴や筆者の考えを理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、随筆の特徴を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主】 ・類似的章段に登場する事物の特徴を理解し、作品から読み取れる書き手の価値意識を共有し、自己の表現力を磨こうとしている。	○	○	○	14
E 文章 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に論説を読んで文章の展開を整理するとともに、比喩にこめられた作者の考えを捉える。	・指導事項 漢文訓読の用法、句法の理解 ・教材 「雑書」 教科書 ・一人1台端末の活用	○		【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】 ・積極的に論説を読んで文章の展開を整理するとともに、比喩にこめられた作者の考えを捉えようとしている。	○	○	○	8	
一学期期末考査					○	○		1	

2 学期	<p>『日記』</p> <p>【知識技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって『更級日記』を読み、晩年に書かれた自伝的日記であることに注意しながら、構成や展開を捉える。 	<p>・指導事項</p> <p>敬語の種類、助詞、助動詞の用法</p> <p>・教材</p> <p>「門出」『源氏の五十余巻』『更級日記』</p> <p>教科書</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>○</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】 ・学習の見通しをもって『更級日記』を読み、晩年に書かれた自伝的日記であることに注意しながら、構成や展開を捉えようとしている。 	○	○	8
	<p>6 史話</p> <p>【知識技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読の決まりや句法を理解し、史伝の構成や表現を適切に読み取る。 【思考力、判断力、表現力】 ・語感を豊かにすることにより、文章の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・我が国の文化と古代中国の文化との関係について理解を深める。 	<p>・指導事項</p> <p>漢文訓読の用法、句法の理解</p> <p>・教材</p> <p>「鴻門之会」『史記』</p> <p>教科書</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文訓読の用法や句法を身につけて、文章を正しく読み取ることができている。 【思判表】 ・文章構成や展開を正しく理解し、作者が意図を正しく読み取り、史伝に表現されている世界観を把握する。 【主】 ・各場面の展開を整理し、登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を進んで捉えようとしている。 			6
	<p>『日記』</p> <p>【知識技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日記の内容を理解するために必要な語彙と古典文法を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・語句の意味や用法を正しく理解し、語彙力を駆使して文章を正しく読み、作者の心情を適切に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・『更科日記』を読んで若い頃の作者の心情を理解することにより、自伝的日記の意義をつかみ取る。 	<p>・指導事項</p> <p>変格活用、助詞、助動詞の用法</p> <p>・教材</p> <p>「門出」『更級日記』</p> <p>教科書</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙や文法を正しく身につけて読み取ることができている。 【思判表】 ・語句の意味や用法を正しく理解し、語彙力を駆使して文章を正しく読み、作者の心情を適切に読み取ろうとしている。 【主】 ・主人公が若い頃の夢を抱きながら失望していく過程を通して、その心情を適切に読み取ろうとしている。 			6
	<p>二学期中間考査</p>				○	○	1
	<p>1 物語日記</p> <p>【知識技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語と作り物語の系譜の流れが『源氏物語』に結晶していく文学史の流れを理解する。複雑な歌語表現を正しく理解し、誰から誰への敬意であるかを正しく把握する。 【思考力、判断力、表現力】 ・玉の男皇子誕生に至るまでの後宮における桐壺更衣の孤独感と彼女を取り巻く女御更衣の心情を適切に読み取る。玉の男皇子の誕生による桐壺の帝の執心ぶりを的確に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・源氏物語の冒頭の内容を正しく理解し、玉の男皇子の数命な運命を読み取る。 	<p>・指導事項</p> <p>敬語の種類、助詞、助動詞の用法</p> <p>・教材</p> <p>「光る君誕生」『源氏物語』</p> <p>教科書</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』成立の背景の事情を適切に読み取っている。 【思判表】 ・様々な助動詞、豊かな歌語表現を的確に身につけることにより、古典文学を支えた女流文学を正しく読み取ることで、正確な現代語訳ができている。 【主】 ・歌語表現を正しく理解し、人物関係を把握するとともに、日記の世界観を通して女流文学の発展を読み取ろうとしている。作り物語の最高峰の作品の世界観に触れ、古典文学への探究を深めようとしている。 	○	○	10
<p>『故事・寓話』</p> <p>【知識技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力】 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に史伝を読み、追い詰められていく項王の心境を捉えようとしている。 	<p>・指導事項</p> <p>漢文訓読の用法、句法の理解</p> <p>・教材</p> <p>「四面楚歌」『史記』</p> <p>教科書</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主】 ・積極的に史伝を読み、追い詰められていく項王の心境を捉えようとしている。 			5	
<p>二学期期末考査</p>				○	○	1	

H 随筆	<p>【知識技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深める。 	<p>・指導事項 助詞、助動詞の用法</p> <p>・教材 「ゆく川の流れ」『方丈記』教科書</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 		6
I 物語	<p>【知識技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑な敬語表現を正しく理解し、誰から誰への敬意であるかを正しく把握する。 【思考力、判断力、表現力】 ・幼い少女に亡き母への思慕と藤壺女御への密かな思いを寄せる心情を読み取り、主人公の心の葛藤を適切に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・亡き母への思いと藤壺女御へのやるせない思いを読み取る。 	<p>・指導事項 敬語の種類、助動詞・助詞の理解</p> <p>・教材 源氏物語「若紫」教科書</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑な敬語表現を正しく理解し、誰から誰への敬意であるかを正しく把握している。 【思判表】 ・様々な助動詞、豊かな敬語表現を的確に身につけることにより、古典文学を支えた女流文学を正しく読み取ることで、正確な現代語訳ができています。また、登場人物それぞれの心情を的確に読み取り、物語の重厚な世界観を理解している。 【主】 ・敬語表現を正しく理解し、人物関係を把握するとともに、日記の世界観を通して女流文学の発展を読み取るようとしている。作り物語の最高峰の作品の世界観に触れ、古典文学への探究を深めようとしている。 		8
J 物語	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史物語の系譜や価値について正しく理解する。敬語を正しく身につけて、敬語の種類や敬意の対象を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の関係性や敬語の用法を正しく理解し、場面における会話表現の意味を正しく理解し、道長が権力を掌握していく理由を的確に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・平安時代の文化や行事に対する興味関心を高め、我が国の伝統的文化への理解を深めるとともに歴史物語の役割を正確につかみ取る。 	<p>・指導事項 敬語の種類、助動詞・助詞の理解</p> <p>・教材 大鏡「弓争ひ」教科書</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史物語の文学的価値を正しく理解し、敬語表現を通して平安時代という背景を理解している。 【思判表】 ・助動詞の活用や敬語表現の違いを正しく理解して人物の相関関係を的確につかむとともに、歴史物語の面白さを理解する。 【主】 ・歴史物語を通して登場人物の生き生きとした姿を味わうとともに、敬語表現の解釈を通して日本語の特徴に習熟する。 		5
K 思想	<p>【知識技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通じて、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力】 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に『韓非子』を読み、韓非が主張する国を治めるための方策について説明する。 	<p>・指導事項 漢文訓読の用法、句法の理解</p> <p>・教材 韓非子「侵官之害」教科書</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典などを読むことを通じて、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思判表】 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 ・積極的に『韓非子』を読み、韓非が主張する国を治めるための方策について説明しようとしている。 		6
学年末考査					○ ○	1 合計 105

雪谷 高等学校 令和8年度（3学年用）教科

国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

教科担当者：（1・2・4・5組：工藤）（3・6・7組：天達）

使用教科書：（東京書籍 精選論理国語）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を旨とする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		国語	読書					
1都市・建築 変われ！ 東京（限研吉） 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	◆指導事項 ◆都市・建築について文化を比較して考える ◆文章の効果的な展開のしかたを学ぶ ◆文章の要点を把握する ◆教材 「変われ！ 東京」（限研吉）			○				6
2メディア 多様化するメディア・ツールと子ども（本田和子） 【知識及び技能】 推論の仕方について理解を深め使うことができる。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	◆指導事項 ◆メディアがもたらす影響について考える ◆仮説を立てる ◆情報を収集し内容を検討する ◆教材 「多様化するメディア・ツールと子ども」（本田和子）			○				7
定期考査				○	○			1
1学期 9歴史 歴史を哲学する（野家啓一） 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語感を豊かにすることができる。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	◆指導事項 ◆歴史の見方について学ぶ ◆語感を豊かにする ◆多面的に検討する ◆教材 「歴史を哲学する」（野家啓一）			○				6
10社会・体験 現代社会における物語（河合俊雄） 【知識及び技能】 推論の仕方について理解を深め使うことができる。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができる。 【主体的に学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	◆指導事項 ◆現代社会の現実と「物語」について知る ◆仮説を検証する ◆関連する資料で裏付けを取る ◆教材 「現代社会における物語」（河合俊雄）			○				6
定期考査				○	○			1

<p>5言語 記号論への招待（池上嘉彦） 【知識及び技能】 推論の仕方について理解を深め使うことができる。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 ◆言語とは何かについて考える ◆文章の構造や展開のしかたを工夫する ◆論理の明晰さを確認する ・教材 「記号論への招待」（池上嘉彦）</p>		<p>【知技】推論の仕方について理解を深め使っている。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 【主】自分の考えをまとめる活動を通して、積極的に推論について理解を深め、学習の見直しをもって主張を明確にするなかで、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	○	6
<p>7近代・現代 私の個人主義（夏目漱石） 【知識技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解することができる。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力】 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 ◆近代から現代へ、どのように変化してきたかを考える ◆言葉の働きを理解し、効果的に使う ◆推論し共有する ・教材 「私の個人主義」（夏目漱石）</p>		<p>【知技】言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 【主】自分の考えをまとめて批評し合う活動を通して、進んで言葉の働きを理解し、学習の見直しをもって自分の文章の課題を捉え直すなかで、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	○	7
<p>定期考査</p>		○ ○		○	○	○	○	1
<p>2 学期 7近代・現代 「である」ことと「する」こと（丸山真男） 【知識技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うことができる。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力】 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 ◆近代から現代へ、どのように変化してきたかを考える ◆言葉の働きを理解し、効果的に使う ◆推論し共有する ・教材 『「である」ことと『する』こと』（丸山真男）</p>	○	<p>【知技】情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 【主】主張を様々な観点からまとめる活動を通して、積極的に情報の整理のしかたを理解し、学習の見直しをもって自分の文章の課題を捉え直すなかで、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	○	7
<p>7近代・現代 書くこと3「論を見直して完成度を高めよう」 【知識技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 ◆近代から現代へ、どのように変化してきたかを考える ◆言葉の働きを理解し、効果的に使う ◆推論し共有する ・教材 書くこと3「論を見直して完成度を高めよう」</p>	○	<p>【知技】言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 【主】資料を集め整理し自分の意見を論述する活動を通して、粘り強く言葉の働きを理解し、今までの学習を生かして自分の文章の課題を捉え直すなかで、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	○	7
<p>定期考査</p>		○ ○		○	○	○	○	1

<p>6平等・制度 憲法への招待（渋谷秀樹）</p> <p>【知識技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 ◆「平等」とは何かについて考える ◆言葉の定義について考える ◆情報を取り込み自己の発信に結び付ける ・教材 「憲法への招待」（渋谷秀樹）</p>		<p>【知技】主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思判表】設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】資料を調べまとめる活動を通して、積極的に情報と情報の関係について理解を深め、学習課題に沿って自分の考えを広げるなかで、自らの学習を調整しようとしている。</p>		7
<p>3 学期</p> <p>6平等・制度 デモクラシーと平等（齋藤純一）</p> <p>【知識技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 ◆「平等」とは何かについて考える ◆言葉の定義について考える ◆情報を取り込み自己の発信に結び付ける ・教材 「デモクラシーと平等」（齋藤純一）</p>		<p>【知技】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思判表】設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】自分の考えをまとめる活動を通して、進んで語感を豊かにし、学習の課題に沿って自分の考えを広げるなかで、自らの学習を調整しようとしている。</p>		7
合計					
70					

都立雪谷 高等学校 令和7年度（3学年用）教科 現代文 科目 現代文演習

教科： 国語 科目： 現代文演習 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (2組：石井) (3組：森脇) (7組：石井) (①：石井) (②：森脇)

使用教科書： 「グラusstep現代文3」「ロジック現代文 私大過去問演習」「速読実用文」「大学入学共通テスト演習 現代文」「共通テスト対策 新しい第3の現代文演習完結11」ほか

教科	国語	の目標：
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	

科目	現代文演習	の目標：
【知識及び技能】	大学入学試験に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	様々な文章を読むことを通じて論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
		読	書						
1 学期	A 現代文の読み方を知る。 【知識及び技能】 ・文章の構成や表現、接続の仕方 を理解し、効果的な組み立て方を説明 している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章全体の内容を整理することを 通じて全体の構成を理解し、説明し ている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の理解を踏まえたうえで、人 間の思考や認識との関連性について の見方を深め、説明しようとしてい る。	・提示された問いに注意して筆者の 主張を理解し、考える力。 ・「グラusstep現代文3」 ・一人1台端末の活用	○	○	【知技】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕 方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との 関係について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏ま えて内容や構成、論理の展開などを的確に捉 え、論点を明確にしなが重要を把握してい る。 【主】 ・進んで文章における具体と抽象の関係性 や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に 沿って見えないものへと思考を広げようと	○	○	○	14
	定期考査							1	
	B 現代文の読み方を身に付ける。 【知識及び技能】 ・本文の語句について、指示された 言葉の意味と働きを理解し、それ以 外にも自分の分からない語句を取り 上げ、意味や使われ方についても理 解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容に即して意味段落に分けて適 切な小見出しをつけ、その根拠を説 明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の内容を踏まえて、文章に対 するこれまでの自分の考えと筆者 の考えを比較して、社会問題など について自分の考えを深めて説明しよ うとしている。	・現代文の読み方を駆使して主張を 理解し、解釈する力。 ・「グラusstep現代文3」 ・一人1台端末の活用	○	○	【知技】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化 して整理する方法について理解を深めて使っ ている。 【思判表】 ・文章において主張を支える根拠や結論を導 く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当 性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【主】 ・進んで演繹的な推論について理解し、学習 課題に沿って広い意味での「論理」における 言葉の関連性や文章構造について捉えようと している。	○	○	○	14
定期考査							1		
2 学期	C 現代文の読み方を用いて内容を 理解する。 【知識及び技能】 ・様々な文章読むことを通じて論理 的表現の働きや役割について理解 し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理的表現の意図を理解したうえ で、表現の方法について、多面的・ 多角的な視点から検討し、評価を説 明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の理解を踏まえて、文章中の 表現について書き換えの必要性があ る場面を具体的に挙げて考えをまと め、根拠とともに説得力のある説明 をしようとしている。	・現代文の読み方を用いて文章の内容 を理解し、情報を適切に読み取れ るようになる力。 ・「ロジック現代文 私大過去問演 習」「速読実用文」「大学入学共通 テスト演習 現代文」 ・一人1台端末の活用	○	○	【知技】 ・論証したり文章内容を正確に把握するた めに必要な語句の量を増し、文章の中で使うこ とを通して、語感を磨き語彙を豊かにしてい る。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理 の展開や表現の仕方について書き手の意図と の関係において多面的・多角的な視点から評 価している。 【主】 ・積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理 解し、学習の見直しをもって調べた身近な例 を整理・分析して自己把握についての考えを まとめ、他者に伝えようとしている。	○	○	○	16
	定期考査							1	
	D 現代文の入試問題に取り組む。 【知識及び技能】 ・対象によって、情報の具体・抽象 の度合いや重要度を絞り込み、資料 の特徴を可視化する方法を理解して 説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料の整理を通して、立場の違い による主張や論拠の違い、問題意識 の違いなどを対比的に検討し、それ ぞれの情報との関係について理解し ている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章中のテーマに沿った資料の考 察から論点を設定し、資料に裏付け された自分の意見が的確に伝わる文 章構成を理解し、論述をしようとし ている。	・読み取った内容をもとに設問に確 実に答えることができる力。 ・「ロジック現代文 私大過去問演 習」 ・「共通テスト対策 新しい第3の 現代文演習完結11」 ・一人1台端末の活用	○	○	【知技】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との 関係について理解を深めている。 【思判表】 ・人間、社会、自然などについて、文章の内 容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び 付けて、新たな視点から自分の考えを深めて いる。 【主】 ・粘り強く論理的な思考力と質問する力の関連 性を捉え、学習課題に沿って論理的な文章に おけるよりよい質問に対する考えを深めよう としている。	○	○	○	14
定期考査							1		

3 学期	E 現代文の入試応用問題に取り組む。 【知識及び技能】 ・筆者の体験や具体例・引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各意味段落の内容を読み取り、キーワードを使って関係性を図示して説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の理解を踏まえたうえで、自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義を理解し、未来の社会について考えを深め、説明しようとしている。	・大学入学試験において文章の内容を正確に把握し、設問に答えることができる力。 ・「共通テスト対策 新しい第3の現代文 集中回答11」 ・一人1台端末の活用	○ ○	【知技】 ・文や文章の効果的な組み立て方、段落間相互の関係性や論理的表現の仕方について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【主】 進んで本文中の複数の問いと具体例の配置に着目しながら、筆者独自の造語に基づく主張を読み取り、今までの学習を生かして自分とその人間関係について考えを深めようとしている。	○ ○ ○	8	合計
							70

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 国語 科目 古典演習

教科: 国語

科目: 古典演習

単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 選択者

教科担当者: 教科担当者: (2組:天達) (3組:工藤) (7組:工藤) (①:天達)

使用教科書: (大学入試国語頻出問題1200 三訂版プログレス古文総演習標準編
過程の演習新国語問題集アシスト第23集古文編
プログレス漢文総演習 標準編
四訂版大学入学共通テスト演習古典

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を

【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、説話を正確に読み取ろうとして

科目 古典演習

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入学試験の古典を読解するために必要となる知識や技能を身に付けるようにする。	大学入学試験に必要な論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典の文章の内容をより深く理解する力を身に付けるようにする。	大学入学試験の古典に対して実践的な問題演習を繰り返し行うことで、入試問題に対応できる力を培おうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		語	書 読					
A 古典文法の総復習 【知識及び技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の言動や心情を読み取り、根拠とともに説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 教材のおもしろさはどのような点にあるか文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・助動詞をはじめとした古典文法の総復習 ・「プログレス古文総演習 標準編」1～6 ・「プログレス漢文総演習 標準編」1～2	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、説話を正確に読み取ろうとしている。	○	○	○	20
B 古典常識の再確認 【知識及び技能】 ・文章の展開の仕方について理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の言動や心情を読み取り、根拠とともに説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 文章中の様々な表現が読み手にどのようなことを考えさせるかを文章にまとめ、自分の考えをさらに深めようとしている。	・古典文法に加え、古典常識の確認 ・「プログレス古文総演習 標準編」7～11 ・「プログレス漢文総演習 標準編」3～4	○	○	【知技】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主】進んで和歌を含んだ説話の構成を的確に捉え、学習課題に沿って、二つの和歌の共通点や、和歌をめぐる登場人物の対応の仕方について考えようとしている。	○	○	○	20
定期考査					○	○		1
1 学期 C 様々な文章を読解する【説話、歌物語】 【知識及び技能】 ・本文中の助詞や敬語などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文中の引用された和歌や言葉の意図や効果について、自分の考えを文章にまとめ、それをさらに深めようとしている。	・品詞分解及び正確な直訳の仕方 ・「プログレス古文総演習 標準編」12～16 ・「プログレス漢文総演習 標準編」5～6	○	○	【知技】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主】進んで文語の決まりと歌物語の特徴について正確に理解し、学習課題に沿って作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	○	○	○	20
D 様々な文章を読解する【随筆、日記】 【知識及び技能】 ・本文中の助動詞の用法や係り結びなどの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語の決まりについて理解し、本文の登場人物の行動の意図や心情について自分の考えを深め、他者に説明しようとしている。	・本文の速読及び正確な直訳の仕方 ・「プログレス古文総演習 標準編」17～21 ・「プログレス漢文総演習 標準編」7～8	○	○	【知技】 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、作者の価値観が現代でも当てはまる例について考察し、学習課題に沿って平安時代の後宮生活について自らの考えを深めようとしている。	○	○	○	20
定期考査					○	○		1

2 学 期	E 大学入試レベル相当の問題演習 【知識及び技能】 本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文についての自分の考えを文章にまとめ、さらに他者の文章を読むことを通して自分の考えを深めようとしている。	・既習事項を用いた設問読解の方法 ・アシスト第23集古文編1～10 ・一人1台端末の活用 等			○	○	○	○	○	○	20
	定期考査										1
2 学 期	F 大学入試レベル相当の問題演習 【知識及び技能】 古典特有の表現や言葉のリズムなどについて理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の言葉について自分の考えを発表し、さらに討論などを通して自分の考えを深めようとしている。	・既習事項を用いた設問読解の方法 ・アシスト第23集古文編11～20 ・一人1台端末の活用 等			○	○	○	○	○	○	20
	定期考査										1
3 学 期	G 共通テスト及び大学二次試験に向けた問題演習 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文からうかがえる作者のものの考え方を踏まえ、自分の考えを深め、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の主題について自分の考えを伝えるときに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・既習事項を用いた設問読解の方法 ・「共通テスト対策 現代文完答22」第一回～第六回 ・一人1台端末の活用 等			○	○	○	○	○	○	10
	H 共通テスト及び大学二次試験に向けた問題演習 【知識及び技能】 和歌の修辞や特色について理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌をはじめとした本文中の表現からうかがえる作者のものの見方や考え方について考察し、自分の考えを伝えるときに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・既習事項を用いた設問読解の方法 ・「共通テスト対策 現代文完答22」第七回～第十一回 ・一人1台端末の活用 等			○	○	○	○	○	○	6
										合計	140

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 時 数
			話・聞	書 読					
1 学 期	A つなげる力 【知識及び技能】 文章を書くために必要な語句の量を増やし、文章の中で理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 文章における適切な語句の使い方と本文中における適切な語句の意味の捉え方 ・教材 国語の表現力トレーニングノート 2026小論文類出テーマ解説集 小論文類出テーマ チェック&ワーク	○	○	【知識及び技能】 文章を書くために必要な語句の量を増やし、評論文の中で理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる価値観に触れながら、他者や社会に対する自分の考えを持とうとしている。	○	○	○	7
	B つなげる力2 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解しながら、文章を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手に伝わるように構成や展開を工夫した効果的な文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 文章における適切な接続詞の使い方と文章の展開の仕方 ・教材 国語の表現力トレーニングノート 2026小論文類出テーマ解説集 小論文類出テーマ チェック&ワーク	○	○	【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解しながら、評論文を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手に伝わるように構成や展開を工夫した効果的な小論文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる価値観に触れながら、他者や社会に対する自分の考えを持とうとしている。	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1
	C 論証する力 【知識及び技能】 主張と具体例など情報と情報の関係について理解し、文章を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性を吟味しながら根拠を挙げ、自分の立場や論点を明確にして文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 主張と具体例の把握の仕方 ・教材 国語の表現力トレーニングノート 2026小論文類出テーマ解説集 小論文類出テーマ チェック&ワーク	○	○	【知識及び技能】 主張と具体例など情報と情報の関係について理解し、評論文を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして小論文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる価値観に触れながら、他者や社会に対する自分の考えを持とうとしている。	○	○	○	7
	D 論証する力2 【知識及び技能】 主張と具体例など情報と情報の関係について理解し、文章を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文の表現の仕方や段落の構造を吟味しながら、自分の主張の的確に伝わる文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 主張と具体例を意識した文章の書き方 ・教材 国語の表現力トレーニングノート 2026小論文類出テーマ解説集 小論文類出テーマ チェック&ワーク	○	○	【知識及び技能】 主張と具体例など情報と情報の関係について理解し、評論文を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文の表現の仕方や段落の構造を吟味しながら、自分の主張の的確に伝わる小論文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる価値観に触れながら、他者や社会に対する自分の考えを持とうとしている。	○	○	○	7
2 学 期	E 論証する力3 【知識及び技能】 主張と具体例など情報と情報の関係について理解し、文章を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文の表現の仕方や段落の構造を吟味しながら、自分の主張の的確に伝わる文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 主張と具体例を意識した文章の書き方 ・教材 国語の表現力トレーニングノート 2026小論文類出テーマ解説集 小論文類出テーマ チェック&ワーク	○	○	【知識及び技能】 主張と具体例など情報と情報の関係について理解し、評論文を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文の表現の仕方や段落の構造を吟味しながら、自分の主張の的確に伝わる志望理由書を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる価値観に触れながら、他者や社会に対する自分の考えを持とうとしている。	○	○	○	14
	定期考査				○	○		1	
	F 要約する力 【知識及び技能】 構成や展開の仕方について理解し、文章を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会に関する事柄について、様々な観点から情報を収集、整理した文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 目的に合わせた効果的な構成や展開の仕方 ・教材 国語の表現力トレーニングノート 2026小論文類出テーマ解説集 小論文類出テーマ チェック&ワーク	○	○	【知識及び技能】 構成や展開の仕方について理解し、評論文を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会に関する事柄について、様々な観点から情報を収集、整理した文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる価値観に触れながら、他者や社会に対する自分の考えを持とうとしている。	○	○	○	14
定期考査					○	○		1	
3 学 期	G 要約する力2 【知識及び技能】 構成や展開の仕方について理解し、文章を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会に関する事柄について、様々な観点から情報を収集、整理した文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 目的に合わせた効果的な構成や展開の仕方 ・教材 国語の表現力トレーニングノート 2026小論文類出テーマ解説集 小論文類出テーマ チェック&ワーク	○	○	【知識及び技能】 構成や展開の仕方について理解し、評論文を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会に関する事柄について、様々な観点から情報を収集、整理した文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる価値観に触れながら、他者や社会に対する自分の考えを持とうとしている。	○	○	○	10
合計									70

雪谷 高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科 国語 科目 古典教養

教科: 国語 科目: 古典教養 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 選択者

教科担当者: (矢野)

使用教科書: 常用国語便覧(浜島書店) わかる・読める・解けるKey&Point 古文単語330(いづな書店) 読んで見て聞いて覚える古文攻略マストアイテム76 (桐原書店)

教科 国語 の目標:
 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたって古典に親しむために必要な古典の知識や技能を身に付けるようにする。	古典に対する理解を深め、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典の文章の内容をより深く理解したり、自らの考えを表現したりする力を身に付けるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書・読					
A 和歌文学に親しむ 【知識及び技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・和歌中の内容や心情を読み取り、根拠とともに説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 教材のおもしろさはどのような点にあると思うか文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・和歌の修辭、文学史 教材 『古今和歌集』『後撰和歌集』『拾遺和歌集』『後拾遺和歌集』『金葉和歌集』『詞花和歌集』『千載和歌集』『新古今和歌集』	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、和歌を正確に読み取ろうとしている。	○	○	○	10
B 連歌 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や背景について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手や目的に応じて、適切な語句や表現を選び、分かりやすく書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 連歌の特徴について学んだことから、積極的に連歌の作成を行い、考えを広げることができる。	・古典文法、古典常識 教材 『菟玖波集』『新撰菟玖波集』『俊賴髓』『古今和歌集』『拾遺和歌集』『金葉和歌集』	○	○	【知技】 ・我が国の言語文化の特質や背景について理解することができる。 【思判表】 ・「書くこと」において、読み手や目的に応じて、適切な語句や表現を選び、分かりやすく書くことができる。 【主】連歌の特徴について学んだことから、積極的に連歌の作成を行い、自らの考えを広げようとしている。	○	○	○	8
1 学期 C 和歌の多様な解釈 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承や創造に関わる働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の表現や構成の工夫を理解し、内容を多面的に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌は時代や社会状況によって解釈が異なることもあることを理解したうえで、語句について調べながら和歌を柔軟かつ多角的に読み取ろうとする。	・古典文法、古典常識 教材 『百人一首』	○	○	【知技】 ・言葉には、文化の継承や創造に関わる働きがあることを理解することができる。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の表現や構成の工夫を理解し、内容を多面的に捉えることができる。 【主】和歌は時代や社会状況によって解釈が異なることもあることを理解したうえで、進んで語句について調べながら和歌を柔軟かつ多角的に読み取ろうとしている。	○	○	○	8
D 竹取物語 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や背景について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や、他の作品などとの関連を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に複数の文章を読み比べて、出典により物語が変化する理由について考察しようとする。	・古典文法、古典常識 教材 『竹取物語』『今昔物語集』『街道記』	○	○	【知技】 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や、他の作品などとの関連を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【主】積極的に複数の文章を読み比べて、出典により物語が変化する理由について考察しようとしている。	○	○	○	6

2 学 期	E 源氏物語 【知識及び技能】 ・本文中の助詞や敬語などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文中の引用された和歌や言葉の意図や効果について、自分の考えを文章にまとめ、それをさらに深めようとしている。	・古典文法、古典常識 教材『源氏物語』	○	○	○	【知技】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主】進んで文語の決まりと物語文学の特徴について正確に理解し、学習課題に沿って作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	○	○	○	12
	F 漢詩 【知識及び技能】 漢詩特有の表現や言葉のリズムなどについて理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の言葉について自分の考えを発表し、さらに討論などを通して自分の考えを深めようとしている。	漢文句法、文学史 教材「杜甫・李白」	○	○	○	【知技】 ・中国文学に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】積極的に中国の文学の特色を踏まえながら内容を捉え、今までの学習を生かして、言語文化への理解を広げようとしている。	○	○	○	10
3 学 期	G 近世文学（1）韻文 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文からうかがえる作者のものの考え方を踏まえ、自分の考えを深め、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の主題について自分の考えを伝えるときに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	文学史 教材『奥の細道』『おらが春』、俳諧、狂歌、川柳、連歌	○	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】積極的に背景を踏まえながら評論の論旨を的確に捉え、今までの学習を生かして、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	G 近世文学（2）散文 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文からうかがえる作者のものの考え方を踏まえ、自分の考えを深め、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の主題について自分の考えを伝えるときに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	文学史 教材『雨月物語』	○	○	○	【知技】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主】積極的に作品の背景を踏まえながら日記を読み、今までの学習を生かして、内容の解釈を深めたり、作品の特徴を理解したりしようとしている。	○	○	○	8
										合計
										70